

# ベガグレシヤスの19



牡 2019年4月9日生 | 黒鹿毛 | 栗東・清水久詞厩舎 | 片岡博生産

一口価格： **14,300円** ※2021年保険料 458円 募集口数：1000口 【競走馬出資金総額 1,430万円】



## ● 育成牧場コメント（森本ステーブル・森本氏）

本馬は馴致がとてスムーズに進み、1週間～10日くらいで完了しました。物覚えがいいのでしょうか。その後はロング場でインターバル調教行って基礎体力をつけ、BTCの施設を使った調教にも着手しています。ウッドチップや坂路を使い、スピード調教やコーナリングの確認を行いつつ、15-15くらいのところまでは問題なく進みました。右トモが弱そうな雰囲気はあるのですが、意外なほどに良い動きを見せてくれています。気持ち前向きというのもプラスに働いているのでしよう。走りに他馬の影響を受けることも少なく、競馬に向いているタイプだと思います。現状では軽い芝で、マイルくらいの距離に適性があるのかなと感じています。調教が順調に進めば早期デビューも狙っていいかと思っています。

## ● 治郎丸敬之の馬体診断

キズナは産駒にストームキャットの血を伝えている、腹袋が大きく、筋肉量が豊富にあり、一瞬の切れ味よりもパワーや地脚の強さで勝負するような馬たちを多く出しています。意外にも、距離が延びても走る馬が出ているのは、馬体の緩さからです。緩さがあるから距離が持つのですが、反面、早い時期から無理をさせすぎると、馬体に芯が入る前に馬体を痛めたり、成長を阻害してしまいます。キズナの産駒は闘争心に溢れているため、長い目で見て、肉体と精神のバランスを取って走らせてあげる必要があるのです。総体的には、馬体に緩さの少ないキズナ産駒を狙うべきでしょう。馬体の見栄えよりも、動きの方を見るべきです。ポイントとしては、後肢がきっちり踏み込んでいるか（前肢よりも後肢の踏み込みの方が長い）、前後から見て左右にブレずに歩いているかです。ベガグレシヤスの19は、手脚や胸部、首にも十分な長さがあり、馬体のフレームが大きくて理想的です。前駆と後駆のバランスも良いですね。外見上は全く問題がありませんので、あとは力強く踏み込んで歩いているのを確認してから出資してみてください。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。